

答 辞

本日はお忙しい中、学長先生を始め、諸先生方、並びにご来賓の皆様にご臨席賜り、このような盛大な修了式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。また、学位記の授与にあたり、皆様方から温かいお祝いの言葉を頂戴しましたこと、修了生を代表して厚く御礼申し上げます。

私達一同は、希望と志を抱いて連合農学研究科に入学し、それぞれが掲げた研究課題に真摯に取り組んで参りました。その間、幾度となく困難に直面し、迷い、立ち止まることもありました。その度に先生方が、見守り、時には叱咤激励しながら、進むべき道を示して下さいのおかげで、私達は研究成果を得る喜びを知ることが出来ました。

また、先生方は、研究の遂行に必要な知識や技術は勿論の事、研究者に欠かせない倫理観についても、真摯に教えて下さいました。私が指導教員から頂いた言葉の中で最も印象に残っているのが、「曲学阿世・学を曲げることを以て、世におもねること勿れ」です。学位記を授与される私達一同は研究者の端くれとして認められるだけでなく、学問を正しく扱う責務を負ったものと考えられます。些末な我欲に囚われることなく、常に謙虚な気持ちで学問に臨むよう、この言葉を心に留めて参りたいと思います。

さて、本日、ここに学位を取得することが出来ましたのは、ひとえに指導教員を始めとする多くの先生方のご指導、ご鞭撻の賜物です。心より感謝し、御礼申し上げます。また、在籍中、支えてくださった家族、友人や研究室の皆様にも、深く感謝致します。研究活動を通し、同じ志を持った仲間達と共に語り合えた事は、何物にも代えがたい経験となりました。

現代社会は目まぐるしく変化し、あらゆる分野において、日々、新たな課題が生じています。このような社会情勢の中で、私達一同は自らの研究に没頭する時間とチャンスを、先生方や家族を始めとする社会から与えて頂きました。この恩義を還元していくことが出来るよう、本学で得た知識を活用し、様々な課題解決に尽力することで、社会の発展に貢献して参ります。

最後になりましたが、東京農工大学大学院連合農学研究科の一層の発展と、皆様方のさらなるご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

平成 28 年 3 月 15 日
東京農工大学大学院
連合農学研究科代表
生物生産科学専攻
岡崎 麻衣子